

平成 28 年熊本地震被災に対する対応について（第 3 報）

平成 28 年 4 月 14 日の地震発生以降、日本獣医師会では、速やかに「日本獣医師会熊本地震救援緊急対策本部」を設置し、これまで 6 回にわたり日本獣医師会熊本地震救援緊急対策本部会議を開催して、被災構成獣医師、地方獣医師会及び被災動物救援活動に対する支援対策等について検討し、取組みを推進してきたところです（別記 熊本地震への日本獣医師会の対応の経過（平成 28 年 5 月 17 日以降））。

今後とも、被災された地方獣医師会をはじめ、全国の地方獣医師会、関係省庁、獣医療農業共済関係団体・機関、動物関係業界団体などと連携して取組みに当たって参りますので、皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

なお、義援金の応募状況は下記のとおり。

記

平成 28 年 6 月 14 日時点

日本獣医師会熊本地震義援金応募状況

募金額	22,597,722 円
うち地方会募金額	18,507,478 円（27 地方会）
支払額	5,012,714 円
残 額	17,585,008 円

別 記

熊本地震への日本獣医師会の対応の経過

（平成 28 年 5 月 17 日以降）

平成 28 年 5 月 19 日：熊本地震動物救護に関する意見交換会を開催

熊本県、熊本市、熊本県獣医師会、日本獣医師会、環境省の関係者が参集して「熊本地震動物救護に関する意見交換会」が開催され、①各組織の被災動物救護対応状況に関する報告、②対策本部の設置に向けての意見調整、③九州災害時動物救援センターの開設と開設後の被災動物の受け入れに関する意見交換等が行われた。

平成 28 年 5 月 19 日：九州災害時動物救援センターの設置に関する記者発表

（一社）九州動物福祉協会が大分県九重に開設することとして準備を進めていた九州災害時動物救援センターは、熊本地震の被災動物に対応するため、前倒しで開設されることが九重町において藏内会長から発表された。

平成 28 年 5 月 19 日：第 5 次支援要員の派遣

会員構成獣医師 1 名（宮崎県獣医師会）を支援要員

として現地に派遣（5 月 19 日～5 月 27 日）した。

平成 28 年 5 月 21 日：九州災害時動物救援センターの設置に係る支援要員の派遣

会員構成獣医師 1 名（東京都獣医師会）、東京都獣医師会職員 1 名及び関係団体会員 1 名を支援要員として現地に派遣（5 月 21 日～6 月 7 日の間で、3 名延べ 24 日）した。

平成 28 年 5 月 25 日：第 6 次支援要員の派遣

会員構成獣医師 1 名（宮城県獣医師会）を支援要員として現地に派遣（5 月 25 日～6 月 3 日）した。

平成 28 年 5 月 27 日：熊本地震ペット救護本部発足

熊本県、熊本市、熊本県獣医師会が構成する熊本地震ペット救護本部が発足した（その後、（一社）九州動物福祉協会が加入）。

平成 28 年 6 月 1 日：第 7 次支援要員の派遣

会員構成獣医師 1 名（岩手県獣医師会）を支援要員

として現地に派遣（6月1日～6月9日）した。

平成 28 年 6 月 5 日：熊本地震ペット救援センター開所式

熊本地震ペット救援センター（九州災害時動物救援センター）の開所式が行われ、熊本県、熊本市、熊本県獣医師会、日本獣医師会、九州地区獣医師会連合会、環境省等の関係者が参集した。最初の受入れ動物として、犬 4 頭、猫 3 頭が受け入れられた。

平成 28 年 6 月 7 日：第 8 次支援要員の派遣

会員構成獣医師 1 名（鳥取県獣医師会）を支援要員として現地に派遣（6月7日～6月15日）した。

平成 28 年 6 月 13 日：第 6 回対策本部会議を開催

対策本部は第 6 回会議を開催し、熊本地震ペット救援本部、熊本県獣医師会及び熊本地震ペット救援センターへの今後の支援の方針等について協議した。